



【4年社会科「水はどこから」】

長崎市上下水道局から講師をお招きし、出前授業を実施しました。実験やクイズ、水道水とミネラルウォーターの飲み比べなどを通して、水道水が作られる仕組みについて楽しく学ぶことができました。子どもたちは、水も大切な資源の一つであることを知り、それを守るために自分にできることを考えることができました。



【自分から みんなと…】

7月8日～12日は短縮日課（保護者面談）のため、全体での掃除はありませんでした。しかし、「お家の人をきれいな教室で迎えよう！」と昼休みに一人二人と掃除道具を持って自分から掃除を始めました。すると、それに気づいた他の子たちも次々に加わり、みんなで協力して掃除をしました。自分たちで考えて行動する力が育ってきました。

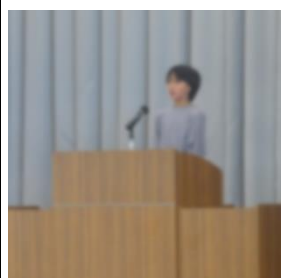


【3・4年総合「伝えよう！外海の魅力」】

6月に田植えをした稲が40～50cmほどに育ちました。そこで、根の活力をさらに高めるために「中干し（バケツの水を抜いて土を乾かすこと）」をしました。

また、「夏休みに稲を守るために必要な対策を考えよう」というテーマで、一人一人が必要な対策を調べ、「自分たちでできるのか。」「本当に必要なのか。」「いつするのか。」など、グループごとに話し合いをしました。

夏休みに入ると、さっそく稲の水替えに来るなど、責任をもって育てようとする意欲が感じられます。



【5年「児童代表の言葉」】

7月19日の終業式では、5年生の代表児童2名が、1学期の振り返りと2学期の目標について発表しました。

2名とも原稿を持たずにステージに上がり、全校児童に向けて自分の思いを話すことができました。しっかりと顔を上げ、「読む」ではなく「話す」にチャレンジする姿は立派でした。

2学期は「時間を意識して学習に取り組む」「自分から元気よくあいさつをする」「自分で気づいて進んで行動する」など、一人一人自分に合った目標を立てて夏休みを迎えました。さらなるレベルアップにつながる有意義な夏休みになることを期待しています。